I-O DATA

Card Dock

USB2.0接続
マルチカードリーダー／ライター

CardDockシリーズ

はじめにお読みください

150232-01

このたびは、「CardDockシリーズ」(以下、「本製品」と表記します。)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。
本書をお読みの後は、添付の「セットアップガイド」をお読みください。

ハードウェア仕様

型式番号	USB2-8inRW	USB2-7inRW
インターフェイス	USB Specification Rev 2.0準拠 ホットプラグ対応	
転送方式	コントロール転送、バルク転送	
転送速度(理論値)	480Mbps(Hi-Speed時)、12Mbps(Full-Speed時)	
電源電圧	DC 5.0V(バスパワーによる供給)	
消費電流	145mA(max)※本体のみ	130mA(max)※本体のみ
動作環境(温度/湿度)	+0～40 ℃/+20～80%(結露しないこと)	
外形寸法	約97.0(W)×69.5(D)×16.0(H)mm	約97.0(W)×69.5(D)×15.0(H)mm
ケーブル長	約1m	
質量	約85g(USBケーブルを除く)	

型式番号	USB2-3inRW	USB2-2inRW
インターフェイス	USB Specification Rev 2.0準拠 ホットプラグ対応	
転送方式	コントロール転送、バルク転送	
転送速度(理論値)	480Mbps(Hi-Speed時)、12Mbps(Full-Speed時)	
電源電圧	DC 5.0V(バスパワーによる供給)	
消費電流	135mA(max)※本体のみ	130mA(max)※本体のみ
動作環境(温度/湿度)	+0～40 ℃/+20～80%(結露しないこと)	
外形寸法	約97.0(W)×69.5(D)×15.0(H)mm	
ケーブル長	約1m	
質量	約72g(USBケーブルを除く)	約70g(USBケーブルを除く)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI

安全にお使いいただくために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意事項

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷など人身事故の原因となります。	⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が軽傷または周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

■絵記号の意味

この記号は注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

<例>「発火注意」を表す絵表示

<例>「分解禁止」を表す絵表示

<例>「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

守 本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

分解禁止 本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。
火災や感電、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

発火注意 煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

発火注意 本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。
ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。

水濡れ禁止 本製品を濡らさないでください。
お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。

⚠ 注意

注意 本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。
故障に備えて定期的にバックアップを行ってください。

禁止 本製品は以下のような場所(環境)で保管・使用しないでください。
故障の原因となることがあります。
●振動や衝撃の加わる場所　●直射日光のあたる場所
●湿気やホコリが多い場所　●温度・湿度差の激しい場所
●熱の発生する物の近く(ストーブ、ヒーターなど)
●強い磁力電波の発生する物の近く(磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など)
●水気の多い場所(台所、浴室など)　●傾いた場所
●本製品に通風孔がある場合は、その通風孔をふさぐような場所での使用
(保管は通風孔をふさぐようにしてください。)
●腐食性ガス雰囲気中(Cl2、H2S、NH3、SO2、NOxなど)
●静電気の影響の強い場所
●保湿性・保湿性の高い(じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど)場所での使用(保管は構いません。)

禁止 本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。
●落としたり、衝撃を加えない
●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない　●そばで飲食・喫煙などをしない
●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

守 本製品のコネクタ部分や部品面には直接手を触れないでください。
静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。

使用上の注意事項

●スロットランプが点滅中は絶対にメディアを抜かないでください。
メディアに記録されている内容が消えたり、メディアが損傷する原因となります。
●本製品は、サスペンド、スタンバイ、スリープの機能には対応しておりません。
●本製品をUSBハブに接続する場合、USBハブの電源はおすすめACアダプターを接続し、コンセントから電源を供給してください。
●ご利用の環境によってはUSBハブに接続すると正常に動作しない場合があります。その場合はパソコン本体のUSBポートに接続する必要があります。
●メディア内のデータは万一に備えて定期的にバックアップを行うことをおすすめします。
●本製品を取り外す場合は、メディアの取り出し作業を行ってから、本製品のUSBケーブルをパソコンから取り外してください。
●本製品を同時に複数台ご使用いただくことはできません。
●本製品と他のリーダー／ライター製品と差し替える場合は、抜いた後10秒程待ってから差し替えてください。

本製品でできること

■各種のメディアに対応
●デジカメ、DVカメラ、携帯電話などの画像、動画データの転送やオーディオデータの転送にもこれ1台で対応できます。
●スロットの異なるメディア間のデータ交換が可能です。

■USB2.0による高速データ転送が可能
●高速なインターフェイスUSB2.0の採用により、メディアの高性能を余すことなく発揮し、大容量データもストレスなく快適に転送できます。
●もちろんUSB1.1環境でも利用できます。

■小型・軽量のコンパクトデザイン
●カセットテープサイズのボディで持ち運びも苦になりません。
●USBケーブルを取り外せるので持ち運び時にもかさばりません。

■添付アプリケーションが充実
●「Media Ejector」でドライブ操作が容易(Windows専用)
「Media Ejector」をインストールすれば、以下のような機能が使用できます。
■エクスプローラやマイコンピュータの「取り出し」の機能が使えます。
本製品に複数のメディアがささっている場合に便利です。
※メディアが自動排出されるわけではありません。
■リムーバブルディスクアイコンやラベルをメディアアイコンやドライブ機能ラベル表示に変更することができます。
ドライブを容易に見分けることができます。
※Windows XP/2000/Me/98でお使いいただけます。(Windows XPでは一部制限があります。)
■ドキュメントファイルを右クリックした時に表示される「送る」に本製品のドライブが入ります。メディアに直接、ファイルを転送したい場合に便利です。
●「AVeL MediaSink™ Lite Edition」でデジカメの画像データを管理(Windows専用)
■「AVeL MediaSink™ Lite Edition」は、映像・音楽・写真などのデジタルデバイスで作成したデータを「パソコンに取り込み」、「管理」、「容易な検索」、「メディア形式の変換」をサポートするソフトウェアです。
※Windows XP/2000/Me/98 SEでお使いいただけます。
(Windows 98はSecond Editionのみ対応です)
●「Media Assign」でドライブ名の変更・固定ができる(Windows専用)
■「Media Assign」は、各スロットのドライブ名を指定のドライブ名に固定させるためのユーティリティです。例えば、「メモリースティック」スロットを「M:」と設定してしまえば、それ以降は、パソコンを再起動しても、リーダー/ライターを抜き差ししてもドライブ名が変更されないので、カードの誤操作を防ぐことができ、使い勝手も向上します。また、システム構築も簡単に行うことができます。弊社製カードリーダー/ライター製品※1を複数お持ちの場合でも、それぞれの製品で各スロットのドライブ名を固定できるので、さらに便利に活用できます。この「Media Assign」は常駐アプリケーションではないため、一度設定してしまえば、その後は変更を行うまで使用する必要はありません。
※1「Media Assign」が標準添付されている製品に限ります。
※頻繁にデバイス(USBハードディスクなど)を抜き差しせず、ドライブ構成にあまり変化がない環境でドライブ名を変更(固定)する場合に使用します。
※Windows XP/2000/Me/98でお使いいただけます。

動作環境

■本製品の動作環境
本製品を使用できるパソコンおよび環境は以下の通りです。
お使いの機種や環境を再度ご確認ください。

●Windows搭載パソコン

対応機種	USB2.0またはUSB1.1ポートを標準搭載、あるいは弊社USBインターフェイスボードを搭載した機種 **DOS/Vマシン**
対応OS(日本語版)	Windows XP、Windows 2000、Windows Me、Windows 98(Second Edition含む)
CD-ROM	サポートソフトのインストールに必要

※USB1.1対応USBポートで使用した場合には、USB1.1となります。

●Mac OS搭載パソコン

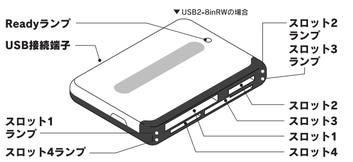
対応機種	USB 2.0または USB 1.1ポートを標準搭載した、Apple iMac、iBook、PowerMacintosh G3、PowerMac G4、G4 Cube、G5、PowerBook G3、G4
対応OS(日本語版)	Mac OS 9.0.4～9.2.2 Mac OS X 10.1.2～10.1.5、10.2～10.3.2
CD-ROM	サポートソフトのインストールに必要

※USB1.1対応USBポートで使用した場合には、USB1.1となります。

注意
●本製品は、スタンバイ、サスペンド、スリープ機能には対応しておりません。
●USBハブに接続する場合は、必ず、USBハブにACアダプターをつけてご使用ください。また、ご利用の環境によっては、USBハブに接続すると正常に動作しない場合があります。その場合はパソコン本体のUSBポートに直接接続してください。

USB2-8inRW/USB2-7inRWの場合

■各部の名称



USB接続端子	USBケーブルの小さい方のコネクタを接続します。
Readyランプ(オレンジ色)	パソコンのUSBポートに接続すると点灯します。
スロット1～4ランプ(緑色)	パソコンのUSBポートに接続し、スロットにメディアを入れると点灯します。 ●点灯時:メディアが使用可能です。 ●消灯時:メディアが未挿入です。 ●点滅時:メディアに読み書き中です。
スロット1～4	メディアを差し込みます。 スロット1:コンパクトフラッシュ/マイクロドライブ スロット2:メモリースティック/メモリースティック PRO スロット3:スマートメディア xDピクチャーカード(USB2-8inRWのみ) スロット4:SDメモリーカード/マルチメディアカード

■対応メディア

コンパクトフラッシュ※1	4Mバイト～1Gバイト (弊社製　CFXシリーズ・CFSシリーズ・CF40シリーズ・PCCFシリーズ)
マイクロドライブ	340Mバイト～4Gバイト (弊社製　CFMDシリーズ、日立グローバルストレージテクノロジーズ製)
スマートメディア※2 3.3Vのみ	4Mバイト～128Mバイト (弊社製　SMCシリーズ・PCFDCⅡ/Ⅲシリーズ)
xDピクチャーカード (USB2-8inRWのみ)	16Mバイト～512Mバイト (FUJIFILM製、OLYMPUS製)
メモリースティック※3	4Mバイトまたは128Mバイト (弊社製　MSRシリーズ・PCMSシリーズ SONY製　※128×2のメモリーセレクトも含む)
メモリースティック PRO※3	256Mバイト～1Gバイト ※高速パラレル転送に対応 (SONY製)
SDメモリーカード※4	8Mバイトまたは128Mバイト (弊社製　MMC2シリーズ・PCMMCシリーズ)
マルチメディアカード	8Mバイトまたは128Mバイト (弊社製　MMC2シリーズ・PCMMCシリーズ)

※1 I/O系(モデム・LAN等)、CFへには対応しておりません。※2 5Vメディア、ID機能には対応しておりません。
※3 マジックゲート機能には対応しておりません。※4 著作権保護機能には対応しておりません。
●miniSDカード、[メモリースティック Duo]は専用アダプターを装着することによりお使いいただけます。
必ず専用アダプターを装着してお使いください。専用アダプターを装着せずに本製品に挿入すると、メディアを取り出せなくなる恐れがあります。

基本的な使い方(Windowsパソコン)

本製品を使用する場合の基本的な使い方を説明します。Macintoshをお使いの場合は、【基本的な使い方(Macintosh)[共通]】をお読みください。

注意
●本製品を接続中に「スロットランプ」が点滅している時は、メディアにアクセスしていますので、絶対にメディアは抜かないでください。
●本製品は、サスペンド、スタンバイ、スリープ機能には対応しておりません。

1 インストールする

本製品を使うためにはまず、サポートソフトをインストールします。
添付の「セットアップガイド」を参照してインストールしてください。



●以下の図や画面はUSB2-3inRWの場合です。
USB2-2inRWの場合は図や画面は多少異なります。

2 メディアを入れる

❶ 下図のようにメディアを向きを確認し、スロットに水平に、まっすぐに入れます。



※「メモリースティック Duo」「メモリースティック PRO Duo」は同時に使用できません。
※メディアの抜き差しは、本製品を手で押さえて行ってください。

❷ 手でカチッとロックがかかるまで押し込みます。
「スロットランプ」が点灯します。
※右図は「xDピクチャーカード」の場合ですが、他のメディアも同様にメディアを入れたスロットの「スロットランプ」が点灯(緑色)します。



3 メディアの読み書き

メディアはリムーバブルディスクとして、ハードディスクと同様に読み書きできます。

注意
●本製品でメディアのフォーマットは行わないでください。
●フォーマットはお使いの機器(デジカメなど)で行ってください。



4 メディアを取り出す

「スロットランプ」が点灯状態であることを確認します。
メディアの取り出しは、お使いのOSにより画面が異なります。以降の手順に従い、メディアを取り出します。

Media Ejectorを使って取り出す場合

※メディアが自動排出されるわけではありません。

❶ タスクトレイに表示されている Media Ejectorアイコンをクリックします。



❷ [全てのメディアを取り出す]または、[USB2-3(2)inRW(XXX)メディア取り出し]をクリックします。
該当する「スロットランプ」が消灯します。
次に「取り出す」を参照し、メディアを取り出します。



[マイコンピュータ]の「取り出し」を使って取り出す場合

※メディアが自動排出されるわけではありません。

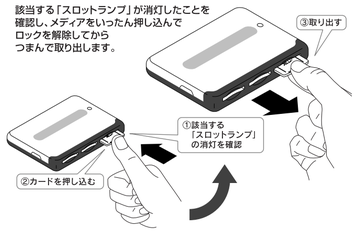
❶ [マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックします。
※Windows XPをお使いの場合は、[スタート]→[マイコンピュータ]をクリックします。

❷ 該当する[リムーバブルディスク]アイコンを右クリックして、表示された[取り出し]をクリックします。
該当する「スロットランプ」が消灯します。



取り出す

該当する「スロットランプ」が消灯したことを確認し、メディアをつまんで取り出します。
※SDメモリーカード、マルチメディアカード、「メモリースティック」、「メモリースティック PRO」の場合は、「スロットランプ」が消灯したことを確認した後、メディアをいったん押し込んでロックを解除してからつまんで取り出します。



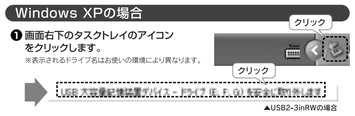
5 本製品の取り外し方

メディアを抜いてから下記の要領で本製品を取り外してください。
●パソコンの電源が入っていない状態:
そのまま本製品のUSBケーブルを抜いてください。
●パソコンの電源が入っている状態:
取り外す方法はOSにより異なります。お使いのOSの「終了手順」を行って、本製品のUSBケーブルを抜いてください。

注意
●以下の手順を行わずに本製品を取り外しますと、予期しない障害が発生する可能性があります。
必ず以下の手順を行って本製品を取り外してください。
●以下の手順で取り外せない場合は、パソコンの電源を切ってから取り外してください。

Windows XPの場合

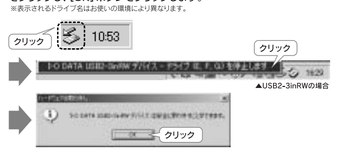
❶ 画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックします。
※表示されるドライブ名はお使いの環境により異なります。



本製品を取り外します。(本製品のUSBケーブルを抜きます。)

Windows 2000の場合

❶ 画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックし、表示された「I-O DATA USB2-3inRWデバイス ドライブ(E:,F:,G:)を停止します」をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。
※表示されるドライブ名はお使いの環境により異なります。



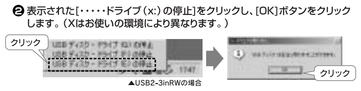
❷ 本製品を取り外します。(本製品のUSBケーブルを抜きます。)

Windows Meの場合

❶ 画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックします。



❷ 表示された[・・・・・ドライブ(x:)の停止]をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。(Xはお使いの環境により異なります。)



❸ 上記の手順を3回繰り返します。
※USB2-2inRWの場合は、上記の手順を2回繰り返します。

❹ 本製品を取り外します。(本製品のUSBケーブルを抜きます。)

Windows 98の場合

[メディアを取り出す]を参照して、
メディアを取り出してから本製品のUSBケーブルを抜きます。

基本的な使い方(Macintosh)[共通]

本製品を使用する場合の基本的な使い方を説明します。

注意
●本製品を接続中に「スロットランプ」が点滅している時は、メディアにアクセスしていますので、絶対にメディアは抜かないでください。
●本製品は、サスペンド、スタンバイ、スリープ機能には対応しておりません。

1 インストールする

本製品を使うためにはまず、サポートソフトをインストールします。
添付の「セットアップガイド」を参照してインストールしてください。



●Mac OS Xをお使いの場合は、サポートソフトのインストールは必要ありません。

2 メディアを入れる

メディアの入れ方は、お使いの製品の【基本的な使い方(Windows)】の「2 メディアを入れる」を参照してください。

●「xDピクチャーカード」および スマートメディアの場合、認識するまで20秒ほど要します。
●メディアのフォーマット状態によってドライブアイコンの名称が変わります。

■デスクトップに表示されたアイコン



参考 デスクトップ上にアイコンが表示されない場合は
➡オンラインマニュアル[困ったときには]を参照してください。

3 メディアを取り出す

❶ 本製品の接続中に「スロットランプ」が点滅していないことを確認し、ドライブアイコンをゴミ箱に捨てます。

■Mac OS Xの場合



■Mac OSの場合



●「xDピクチャーカード」および スマートメディアの場合、消灯またはドライブアイコンが消えるまで20秒ほど要します。

❷ 該当する「スロットランプ」の消灯またはドライブアイコンが消えたことを確認します。

注意
●本製品を接続中に「スロットランプ」が点滅している時は、メディアにアクセスしていますので、絶対にメディアは抜かないでください。
●上記の手順を行わずに、メディアを取り出そうとすると予期しない障害が発生する可能性があります。必ず上記の手順を行ってください。
●スリープ中にメディアの出し入れを行うと予期しない障害が発生する可能性がありますので、絶対にスリープ中にメディアの出し入れは行わないでください。
●Mac OS X 10.2以降をご使用の場合に、メディアを2枚以上差した状態で「Apple System Profiler」を起動すると予期しないエラーが発生する可能性があります。
●本製品ではメディアのフォーマットは行わないでください。フォーマットはお使いの機器(デジカメなど)で行ってください。

❸ メディアを取り出します
メディアの取り出し方は、お使いの製品の【基本的な使い方(Windows)】の「取り出す」を参照してください。

❹ パソコンのUSBポートから本製品のUSBケーブルを抜きます。

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせは
サポートセンターのみで受け付けています。

① 弊社ホームページをご確認ください。
オンラインマニュアル【困ったときには】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」もご覧ください。
過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

● http://www.iodata.jp/support/

添付のサポートソフトをバージョンアップすると解決することがあります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

● http://www.iodata.jp/lib/

② それでも解決できない場合は…

住所:　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 アイ・オー・データ第2ビル 株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話:　本社…076-260-3661　東京…03-3254-1085
※受付時間　9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)
FAX:　本社…076-260-3360　東京…03-3254-9055
インターネット:　http://www.iodata.jp/support/

お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。
1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSとサポートソフトのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
(画面の状態やエラーメッセージなどの内容)

修理について

修理の前に

故障かな?と思ったときは、
① 本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
② 弊社サポートセンターへお問い合わせください。
(上記【お問い合わせ】をご覧ください)
明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて
修理の際に、製品ご取り替えさとができるものとします。その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について
■保証期間中は、無料修理いたします。ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
(ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。)修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●メモに控え、お手元に置いてください
お送りいただく製品の製品名、シリアル番号、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください
■必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書(コピー不可)
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
■以下の内容を書いたもの
●返送先[住所/氏名/(あれば)FAX番号]
●日中にご連絡できるお電話番号
●ご使用環境(機器構成、OSなど)　●故障状況(どうなったか)

●修理品を梱包してください
■上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
■輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください
■修理は以下の送付先までお送りください。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
■送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

【送付先】〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

■修理品到着後、通常約1週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

【ご注意】
1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合にもお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 震災による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社では いかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan。We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
11) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
13) 弊社は、お客様がご「注意」の箇条書きのいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

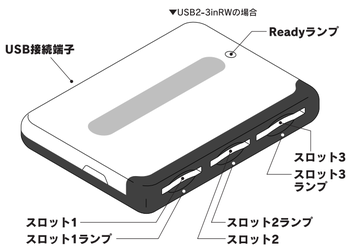
● I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
● Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
● Apple、Macintosh、Power Macintosh、PowerBook、Mac は、米国Apple Computer, inc.の登録商標です。
● Mac、Macintoshは、米国Apple Computer, inc.の商標です。
● 「メモリースティック」、「マジックゲート」、「メモリースティック PRO」及び「メモリースティック Duo」はソニー株式会社の商標です。
● SDロゴは商標です。
● miniSDTMは、SDアソシエーションの商標です。
● スマートメディアは(株)東芝の商標です。
● Compact Flash™は、SanDisk Corpの商標です。
● xDピクチャーカードは、富士写真フイルム(株)の商標です。
● MultiMediaCard™は、ドイツのInfineon Technologies AG社の登録商標であり、MMCAへライセンスされています。
● その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地　2004.3.20 発行

©2004 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

USB2-3inRW/USB2-2inRWの場合

■各部の名称
※USB2-2inRWの場合は、スロット3およびスロット3ランプはありません。



USB接続端子	USBケーブルの小さい方のコネクタを接続します。
Readyランプ(オレンジ色)	パソコンのUSBポートに接続すると点灯します。
スロット1～3ランプ(緑色)	パソコンのUSBポートに接続し、スロットにメディアを入れると点灯します。 ●点灯時:メディアが使用可能です。 ●消灯時:メディアが未挿入です。 ●点滅時:メディアに読み書き中です。
スロット1～3	メディアを差し込みます。 スロット1:miniSDカード スロット2:メモリースティック Duo メモリースティック PRO Duo スロット3:xDピクチャーカード(USB2-3inRWのみ)

■対応メディア

miniSDカード※1	16Mバイト～128Mバイト (東芝製、SanDisk製、Panasonic製)
メモリースティック Duo※2	8Mバイト～128Mバイト(SONY製) ※高速転送に対応
メモリースティック PRO Duo※2	256Mバイト(SONY製) ※高速パラレル転送に対応
xDピクチャーカード (USB2-3inRWのみ)	16Mバイト～512Mバイト (FUJIFILM製、OLYNPUS製)

※1 著作権保護機能には対応しておりません。※2 マジックゲート機能には対応しておりません。

基本的な使い方(Windowsパソコン)

本製品を使用する場合の基本的な使い方を説明します。Macintoshをお使いの場合は、【基本的な使い方(Macintosh)[共通]】をお読みください。

注意
●本製品を接続中に「スロットランプ」が点滅している時は、メディアにアクセスしていますので、絶対にメディアは抜かないでください。
●本製品は、サスペンド、スタンバイ、スリープ機能には対応しておりません。

1 インストールする

本製品を使うためにはまず、サポートソフトをインストールします。
添付の「セットアップガイド」を参照してインストールしてください。

●以下の図や画面はUSB2-3inRWの場合です。
USB2-2inRWの場合は図や画面は多少異なります。

2 メディアを入れる

❶ 下図のようにメディアを向きをラベル面を上にしてスロットに水平に、まっすぐに入れます。

※「メモリースティック Duo」「メモリースティック PRO Duo」は同時に使用できません。
※メディアの抜き差しは、本製品を手で押さえて行ってください。

❷ 手でカチッとロックがかかるまで押し込みます。
「スロットランプ」が点灯します。
※右図は「xDピクチャーカード」の場合ですが、他のメディアも同様にメディアを入れたスロットの「スロットランプ」が点灯(緑色)します。

3 メディアの読み書き

メディアはリムーバブルディスクとして、ハードディスクと同様に読み書きできます。

注意
●本製品でメディアのフォーマットは行わないでください。
●フォーマットはお使いの機器(デジカメなど)で行ってください。

4 メディアを取り出す

「スロットランプ」が点灯状態であることを確認します。
メディアの取り出しは、お使いのOSにより画面が異なります。以降の手順に従い、メディアを取り出します。

Media Ejectorを使って取り出す場合

※メディアが自動排出されるわけではありません。

❶ タスクトレイに表示されている Media Ejectorアイコンをクリックします。

❷ [全てのメディアを取り出す]または、[USB2-3(2)inRW(XXX)メディア取り出し]をクリックします。
該当する「スロットランプ」が消灯します。
次に「取り出す」を参照し、メディアを取り出します。

[マイコンピュータ]の「取り出し」を使って取り出す場合

※メディアが自動排出されるわけではありません。

❶ [マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックします。
※Windows XPをお使いの場合は、[スタート]→[マイコンピュータ]をクリックします。

❷ 該当する[リムーバブルディスク]アイコンを右クリックして、表示された[取り出し]をクリックします。
該当する「スロットランプ」が消灯します。

①右クリック
②クリック
Windows XP SP1の画面例▶